

大会主題

主体的・対話的で深い学びを通して、未来につなぐ体育・保健体育学習

－仲間とともに「愛顔（えがお）」で挑戦する授業の実現－



体を動かすことはとても大切だよね！

上手く打ち返すことができたよ。



小学校からは、指定4校がチーム愛媛の代表として、愛顔いっぱいのできな授業を公開していただきました。大会主題にも掲げました「仲間とともに愛顔で挑戦する」姿が随所で見られ、まさに、主体的・対話的で深い学びを通して、子ども自身が未来につなぐ体育学習を展開することができました。本大会を契機として、伝統ある愛媛体育を全国に向けてアピールすることができたことを、心より嬉しく思います。

本頁では、その場面の一端を御紹介させていただきます。また、取組の詳細につきましては、「第60回全国学校体育研究大会 愛媛大会報告集」に掲載していますので、ぜひとも御参照ください。



どんどん動いて！その動き、いいね！



どんな動きになるかな。
体を動かしながら表現しよう。

3年生の変化

■ A ■ B ■ C ■ D ■ E

3年 (R3)	12.5%	25.1%	32.8%	20.7%	8.9%
2年 (R2)	11.1%	21.2%	36.2%	21.9%	9.6%
1年 (H31)	8.8%	21.5%	34.3%	23.1%	13.4%

2年生の変化

■ A ■ B ■ C ■ D ■ E

2年 (R3)	8.7%	20.7%	36.1%	25.0%	9.5%
1年 (R2)	12.1%	26.6%	33.2%	18.3%	9.8%

〈学年別追跡調査の結果より〉

3年生が2年生時と比べて、A B級の増加が見られ、体力の伸びが著しく見られます。それ以外の学年については、特にA級の割合が大きく下がっており、さらに、上位群の低下、下位群の増加からも運動の二極化が顕著に表れていることが分かります。運動の習慣化の取組について見直していきましょう。